

刊夕日四月一十



健康の秋を謳歌する

昨日の体操大会 好晴の佳節に何れも盛況

明治神宮国民体育大会に倣ふ
昨日は好晴の明治佳節に各
地何れも男女青年團、各學校
その他健康の秋を謳歌する催
に終始した、平市では全市民
の同大会を西部(第一小學校)
東部(第三小學校)北部(第四
小學校)の三方に分けて會同
職員生徒の國民体操及びラヂ
オ体操を行ひ何れも非常な盛
況であつた

商校落成式に 表彰の功勞者

平商業學校の落成式は明五日
午前九時半同校講堂に於て舉
行されるが左記の諸氏が功勞
者として表彰される

▲建築委員(市議)鈴木康左
右、矢吹龜作、鈴木彌太郎
萩原義雄、大谷武雄、吉田
寅之輔、川崎文治、大嶺庫
酒井清太郎、佐々木大作、
神長倉土木課長、請負者堀
江工業會社、平商友會

豊作の石城蒟蒻

總額六十一萬圓

今年から満支へも出荷

石城郡南蒟蒻田山村を主とす
る特産の蒟蒻は来る十五日
頃から出廻る模様であるが近
年にならば豊作の本年産高は粉
蒟十一萬二千五百貫、生玉
千三百五十貫を豫想され同業
組合に於ける販賣價格の内定
左記の如く尙ほ同組合では本
年から満洲、北支方面への出
荷を目前に既に豫約申込みも
ある爲め同地方は早くも蒟蒻

溜池擴張の陳情

石城郡勿來町では同町大月部

落の灌漑用水溜池(面積三反
歩)を擴張する計畫で去る二
日赤津縣議、横山町長外町議
町農會代表出席陳情をなす

物價停止令で 勞務主任會

仙台鐵山監督局では明後六日

戦地の便り

戦に勝つことを 任務と心得ます

勿論長期戦に入りて利害關
係國が利權擁護に暗躍し蔭
政權の援助に露骨極まるも
のがあります我々第一線
にあるものは其んなことに
は顧及の必要をもたず命ぜ
られた戦に勝つことのみが
皇軍の任務であつてそれが
新東亞建設となることに思
へます、今の吾れ等には何
等の關係もありません、戦
後の皆々様と力を合せ國家
總力で長期に覺悟すること
であります、從來男子の仕
事の様に限られたものも能
ふかぎり女子が進んでこ
れに當り白粉などを塗る暇
があつたら國家奉仕に勵ん
で呉れることです、斯うし
た決心は戦後の皆々様には既
に實行されてゐることには
思ひます、それに對しては
我々第一線のものから感謝
申し上げる次第であります
聖戰の目的達成の日は遠か

單に領事と云ふ場合は
リンシー、警察署長を
局長と稱へてチヌイチ
アン、警視を警正と稱
してチンチオン、警部
は警佐でチンツォー、
巡査部長は巡長でシユ
インチアンと呼んで居る

渡邊家から根岸家へ養子とな
つたもので留守宅には養母つ
ま四九さん一人だけである

七日午後一時から福島市公會
堂に於て開かれるが同會には
厚生省技師で本邦藥學の權
威刈米達夫藥學博士の「時局
下に於ける醫藥品に就て」と
題する講演がある平市部から
の出席は小野支部長外支部役
員縣代議員等十餘名である

錦村の人絹工場藥品係前科三
犯村越高永(三)は本年七月
茨城縣平潟町の船主小野良助
さんから漁夫周旋を頼まれて
旅費二十圓また同町金竹漁船
場からも同様十三圓を横領せ
るを植田署に探知逮捕取調べ
の結果十數件の餘罪も發覺す

興亞奉公日に 勇士の感謝祭

平市鎮後奉公會では第一線か
ら歸還せる勇士の勞を痛ふた
め来る八日午前九時縣社子鐵
倉神社に於て感謝祭を執行す
るが今後同會では毎月一日の
興亞奉公日に於て前月中の歸
還勇士を招待し同様御國の爲
めに奮闘された勞苦に對して
感謝祭を行ふことになつた

質屋の日那に 佐藤吏員任命

平市公益質屋は市内大町に新
設竣功したので来る八日から
開店に決し店主に市社會課
社會事業主任佐藤伊太郎氏を
事務員に馬目よしさんを任命
この吏員の異動で衛生係主任
佐藤兵吉氏が前記佐藤氏の後
へまた衛生係主任には防空係
主任佐藤正光氏が移つた

漁夫周旋の横領 錦村の職工

平市舊城跡警備佐官會舎で
去る一日の興亞奉公日に職員
生徒二百八十餘名を四班に分
けて明二日に亘る二日間市内
及び隣り村の出征軍人家族に
稻刈手傳の奉仕をなす

武勳の伍長 作業中轢死

石城郡植田町の植田保線分區
臨時工夫吉田俊成(三三)君は昨
三日午後二時半頃植田驛構内
で鐵道枕木入替作業中下り貨
物列車の爲め轢死した同君は
滿州事變及び今次の支那事變
に従軍歸還した伍長で母と兄
弟三人あり殉職を痛く同情さ
れてゐる

濱木炭事務理事 佐藤氏に決定

濱三郡木炭同業組合では去る
二日評議員會を開き事務理事
江尻榮次郎氏辭職により後任
を元本縣木炭検査員から日立
製作所に移つた佐藤寛(三三)氏
を決した佐藤氏は本縣安達郡
山木屋村出身、岩瀬農學校卒

養父角吉儀病氣療養中の處藥石 効なく昨三日午後十一時死去致 し候間此段御通知申上候

追而葬送の儀は来る六日午後二時自宅出棺本
市九品寺に於て佛式により相替可申候
昭和十四年十一月四日
平市鎌田町四五
養子 猪狩兼孝
外親 戚一同

縣藥定期總會

刈米博士の講演
縣藥業協會の定期總會は来る
晚の九時頃であつた。サルン
で一人演説して、トン、
と梯子段を下りて来る足音が
聞えた。ドアを排してキャブ
テンとパイロットが入つて來
た、パイロットは三十年前か
支那に居住してゐるので、支那
の事なら支那人以上に詳しい
と自慢して居る程であつて、人
情風俗諸物價に至る迄知つて
た。それに草書が如く角のな
い人で難談が一筆染し參らせ

思ひ 出る 大森 勇

人間の死体から迄頭をはねて
四圍儲けるのだ、世界の謎の
都と云はれる上海では闇の穴
から黄浦江に流される死体が
絶えないので黄浦江の鱉は大
喜びである、上海では鱉を食
ふなよ、申した人は自分の
知つてる丈けでも相當にある
ぞ。支那に小供を賣る習慣の
ある事は新來の諸君も知つて
るだらう。親は小供を賣るも
の、小供は親に賣られるもの
と、永年の習慣になつてゐる
で何とも思はぬ、値段は五、六
才位で男も女も五、六圓位十
五、六才位になると五十圓か

護國の柱

石城出身勇士
根岸光雄上等兵、石城郡
勿來町の酒井出身、海南省
寧陵縣附近の戦に活躍中の
十月七日名譽の戦死を遂げ
たる旨町役場に公電あつた
同君は昭和十二年八月町内

候と始まつて、候かこと終
る迄糧が糸を吐く如く何等の
淀みなく、面白い事か笑しい
事悲しい事等々が、それから
それへと展開して、聞く者を
絶えないうで黄浦江の鱉は大
喜びである、上海では鱉を食
ふなよ、申した人は自分の
知つてる丈けでも相當にある
ぞ。支那に小供を賣る習慣の
ある事は新來の諸君も知つて
るだらう。親は小供を賣るも
の、小供は親に賣られるもの
と、永年の習慣になつてゐる
で何とも思はぬ、値段は五、六
才位で男も女も五、六圓位十
五、六才位になると五十圓か

ら六十圓位する。先年大飢饉
のあつた時、漢口に大規模の
小供賣市場が立つたことがあ
る、自分(パイロット)も行つ
て見たが、泥坊市場以上の混
雑だ、綺麗な娘さんで賢そ
うでそれに多少インテリが
つてる處のあるのが居たので
懐手で財布の札を勘定して聞
に合ひ相見當がついたので
いくらだと思つて踏んで見た
ると柳眉が逆立ち頼べたが
澎れり大變なげんまくなつ
た、聞いて見たら賣物でな
く女教員であつた、



果實蔬菜の

荷造り統一

(4) 十五種の木箱と荷造り包装の仕方
▲南瓜、俵は八貫入(栗南瓜は十貫とする)同五貫入...

巻葉巻隙箱の四種
▲松茸、一號箱(四貫、ひらき物は三貫三百入)...

スペインGIN元詰 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

附屬病院 新設
妊産婦入院隨意
婦人科 木村病院
電話 新川町 一六四番

根本婦産科科醫院
平市南町 根本莊次郎 根本貞雄
(入院隨時) 電話 三四番

不思議の妙薬
禁煙 ニコチロン
含嗽劑
是非御使用を御勧め致します
專賣店 漢方胃腸薬の 山野邊藥局

無盡無城
貯蓄は無盡で
三行圓
平市南町

お醤油は ヤマフル
醤油、味噌、たひら正宗、鰯節食料品
山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番 支店部 二七〇番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

高久病院
院長 醫學士 高久忠
内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻喉科、レントゲン科
平市田町 電話五一三番

開業
内臓外科 内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
整形外科
入院隨時
平市大町二番地

電話五九二番
レストラ サロシ
平市銀座街
食茶、喫茶、酒場を兼ねた。

平病院 (平市元共済病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 鈴木定藏、高橋俊幸、鈴木明
内科、小兒科、外科、皮膚泌尿器科、物理療法科
院長 吉本孝平

冬に於ける婦人洋品
シヨールと防寒具
可愛い子供さんのお帽子とお洋服
豊富陳列して御座います
平 4 ツルヤ
電話 140

カバと洋品類
眞砂屋
(平市南町前) 電話五六

産科 醫學博士 五十嵐雄二
婦人科
病室増築、手術室完備
平市新川町 電話三六九番

債券、公債、両替、金融
多田洋貨店
平市大町 電話五九一